

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年4月1日

学校法人けやきの杜 小平神明幼稚園

1 本園の教育目標

- ・健康な身体と体力を培う
- ・感謝の気持ちと素直な心を育てる
- ・思考の芽生えと豊かな情操を養う

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

本アンケートは、昨年度の先生方のアンケートを集計した結果、以下の内容が課題として取り上げられた。

・前年度よりも「子どものみとりと理解②」の部分で教職員の自己評価が平均してC評価（42%）となった。これは、昨年度のアンケートを踏まえ「記録を実践に活かす」という課題が意識化されたが、十分に改善されず、課題として残っている事が考えられる。本年の成果として自己課題として意識化されたことが挙げられる。次年度は、保育の記録を実践に活かすためのシステムの構築を課題として取り組むことで、より質の高い記録を目指す。

・昨年度に引き続き、「地域への開放と支援」の部分で、教職員の自己評価が平均してC評価（50%）となった。近年のコロナ禍の影響により十分に幼稚園を地域に開放できていない事や、近年の預かり保育（長時間保育）利用者の増加により、以前は午前保育などに、園庭開放を行っていたが、園庭の空き時間が無くなったことによる園庭開放実施回数の低下などが要因としてあげられる。上記の課題を克服するため、次年度は、子育て支援担当を設け、定期的な子育て支援事業の実施を計画していく。また、コロナ禍でひかえていた、地域の子育て世代を対象とし子育て講座を再開するなど、子育て支援事業の充実を図っていききたい。

（1）保育環境の工夫

ねらいを達成するために適切なものとなるように構成し、幼児が自らその環境に関わることにより様々な活動を展開しつつ必要な体験を得られるようにする。その際、幼児の生活する姿や発想を大切に、常にその環境が適切なものとなるようにする。

→本年度の取り組み：園舎建て替え中の保育環境の工夫

（2）見通しや振り返りの工夫

幼児が次の活動への期待や意欲をもつことができるように幼児の実態を踏まえながら、教師や他の幼児と共に遊びや生活の中で見通しをもったり振り返ったりするよう工夫する。

→本年度の取り組み：日誌の提出のシステム化や書き方の工夫など

（3）「健康」に関する資質・能力の向上

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養うために委託講師を依頼し、継続的な体育指導を実施する。

→本年度の取り組み：（株）ジャクパとの連携のもと、子どもたちの運動能力の向上に努める

(4) 子育て支援機能の充実

子育ての支援のために保護者や地域の人々に機能や施設を開放して、幼児期の教育に関する相談に応じる。情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど、幼稚園と家庭が一体となって幼児と関わる取組を進め、地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たすよう努める。

→本年度の取り組み：「保護者サークル」や「たまご広場」を実施し、子育て中の保護者が集いやすい環境を整備

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	自己評価	保育者から出た意見の一部
(1) 保育のねらいを達成するために環境の工夫がなされていきましたか。	A…37.5% B…58.3% C…4.2% D…0%	・園舎の建て替えがあり、環境に制約があったが、その中で、子どもたちが発散等出来るように、散歩に出かけるなど工夫をして保育を行った。
(2) 幼児の興味や関心に応じて、環境を変化させることがしやすい環境でしたか。	A…37.5% B…50.0% C…12.5% D…0%	・園舎の建て替え中は、環境の変化がさせにくい状況もあったが、新しい園舎になり、保育室の工夫がしやすくなった。
(3) 幼児が次の活動への期待や意欲をもつことができるように、幼児の実態を踏まえる振り返りを行う機会がありましたか。	A…29.2% B…70.8% C…0% D…0%	・日誌やドキュメンテーションなど、日々の保育を記録にすることで、振り返りを行うことが出来た。日誌を書く時間の確保などに難しさを感じた。
(4) 他の教師や幼児と共に遊びや生活の中で見通しをもったり、振り返ったりすることができる環境でしたか。	A…45.8% B…50.0% C…4.2% D…0%	・学年会などで、他の保育者と一緒に、子どもの様子や活動のねらいを確認する時間を確保することが出来た。
(5) 体育指導の専門講師に委託し継続的な体育指導を行ったことが、子どもたちの「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す「力を養うこと」に繋がりましたか。	A…16.6% B…79.2% C…4.2% D…0%	・体操の先生と打ち合わせを行う時間が確保できず、日々の保育の中に位置づく内容にしていく事に難しさを感じた。ねらいの共有等をしていく必要がある。
(6) 子育ての支援のために保護者や地域の人々に機能や施設を開放して、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たすことが出来たと思いますか。	A…58.3% B…41.7% C…0% D…0%	・サークルや、たまご広場（子育て支援）が始まったことで、保護者が園内に入りやすい雰囲気につながった。

※自己評価 正規職24名 対象に実施

実施時期：3月1週目

4 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none">・昨年度に課題としていた保育記録の質向上と子育て支援機能の充実については、意識的に取り組み、全体的に評価があがった。・体操については、指導講師との連携に課題が残ったため、来年度以降も継続して子どもの体育機能向上のためのカリキュラム開発に力を入れていきたい。

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境の改善	・認定こども園化に伴う園舎建て替えに伴い、園環境全体の整備が必要である。環境整備の係を設け、年間を通して子どもたちの環境完全に取り組む。
2	保育計画の見直し	・長時間保育利用の子どもの増加に伴い、全体的な計画の見直しが必要である。PDCA サイクルを意識し、循環性のある柔軟な保育計画の開発に勤める
3	子育て支援機能の充実	・今年度に引き続き、地域の子育て家庭が出入りしやすい雰囲気づくりをしていくための企画を考えていく。また、園庭開放など、空きスペース、空き時間の有効活用をしていく。

6 学校関係者評価委員会の評価

※関係者評価 理事・評議員 8名 対象に実施

評価項目	関係者評価
(1) 保育のねらいを達成するために環境の工夫がなされていましたか。	A…65.5% B…34.5% C…0% D…0%
(2) 幼児の興味や関心に応じて、環境を変化させることがしやすい環境でしたか。	A…50% B…50% C…0% D…0%
(3) 幼児が次の活動への期待や意欲をもつことができるように、幼児の実態を踏まえる振り返りを行う機会がありましたか。	A…34.5% B…65.5% C…0% D…0%
(4) 他の教師や幼児と共に遊びや生活の中で見通しをもったり、振り返ったりすることができる環境でしたか。	A…65.5% B…34.5% C…0% D…0%
(5) 体育指導の専門講師に委託し継続的な体育指導を行ったことが、子どもたちの「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す「力を養うこと」に繋がりましたか。	A…12.5% B…87.5% C…0% D…0%
(6) 子育ての支援のために保護者や地域の人々に機能や施設を開放して、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど 地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たすことが出来たと思いますか。	A…75% B…25% C…0% D…0%

評価基準 (A・・・十分に取組めた B・・・取組めた C・・・少し取組めた D・・・取組めなかった)